

令和4年度 学校評価アンケートの結果について

仙台市立遠見塚小学校

保護者の皆様のご理解とご協力により、充実した教育活動ができましたことに感謝申し上げます。ご意見につきましては、教職員一同真摯に受け止め、新年度の学校運営に生かしてまいります。

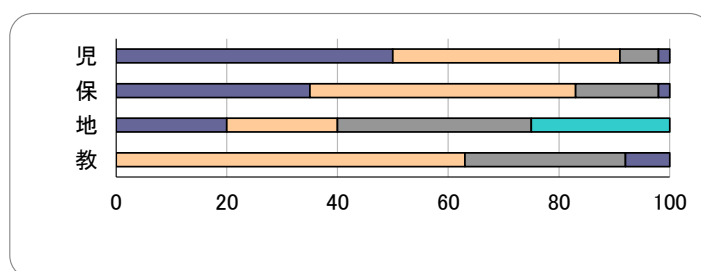
A:十分達成されている B:概ね達成されている C:やや不十分 D:不十分 E:わからない・無回答

【児童434名、保護者334名、地域 25名、教職員28名回答】

1 協働型学校評価の重点目標「関わり合いを大切にする子どもを育てる～コミュニケーション力の育成～」について

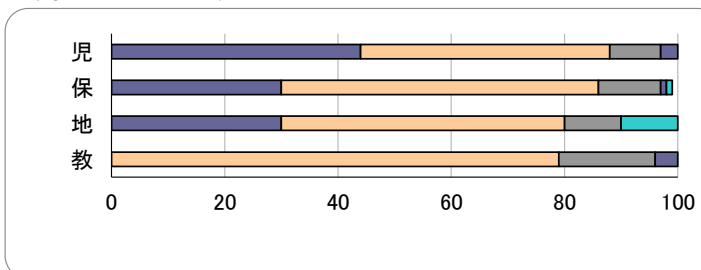
① 「おはよう」、「さようなら」、「ありがとう」、「ごめんなさい」などのあいさつを自分からしている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	50	41	7	2	0	2
保	35	48	15	2	0	-1
地	20	20	35	0	25	8
教	0	63	29	8	0	-4



② 相手の様子や気持ちを考えながら、話したり聞いたりしている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	44	44	9	3	0	1
保	30	56	11	1	1	2
地	30	50	10	0	10	0
教	0	79	17	4	0	-7



・①については、四者ともおおむね「できている」と回答している。その反面、「できていない」という回答や意見もあった。特に、あいさつに関しては、声をかけても返さない児童が一定数いるという指摘があり、児童への指導法の工夫が必要である。声を出すだけでなく、「目を合わせる」「会釈する」など、あいさつの仕方をより具体的に示すことで改善につなげたい。

・②については、教職員が今ひとつできている実感がない結果である。「話す」と「聞く」ことを分けて評価している可能性が高い。学級では、ふわふわ言葉の推奨などを行い、受け止める側の気持ちが理解できるようになるための指導を行っている。

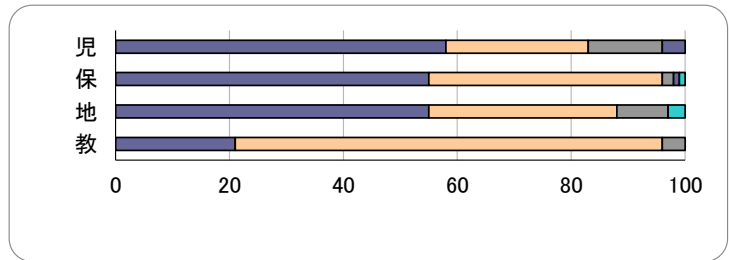
・具体的な場面を想定するなど、児童が日常的に相手を意識した話し方や聞き方ができるように、次年度も継続して指導を行う。

2 学校生活や家庭生活について

【やさしい子】

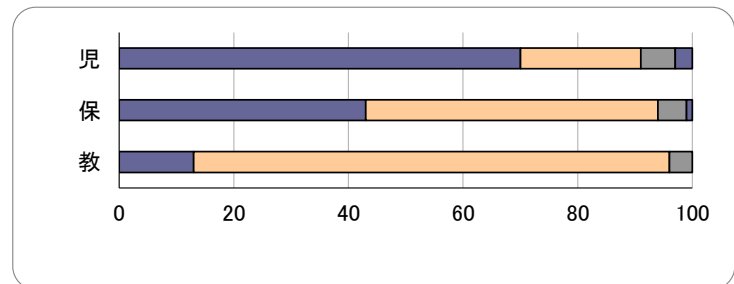
① 楽しく学校生活を送っている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	58	25	13	4	0	-6
保	55	41	2	1	1	3
地	55	33	9	0	3	0
教	21	75	4	0	0	1



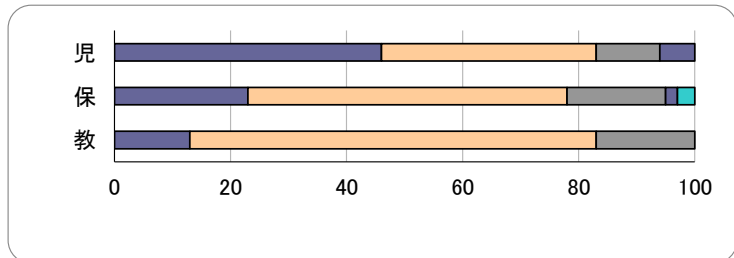
② 友達の良いところを理解し、認めている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	70	21	6	3	0	3
保	43	51	5	1	0	-1
教	13	83	4	0	0	20



③ 進んで人の役に立つことをしている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	46	37	11	6	0	4
保	23	55	17	2	3	-10
教	13	70	17	0	0	2



・楽しく学校生活を過ごしている児童がほとんどである。しかし、「楽しくない」と感じている児童もいる。これについて、どのような理由で「楽しくない」と感じているかを把握し、学校生活が充実したものになるよう、手立てを講じる。

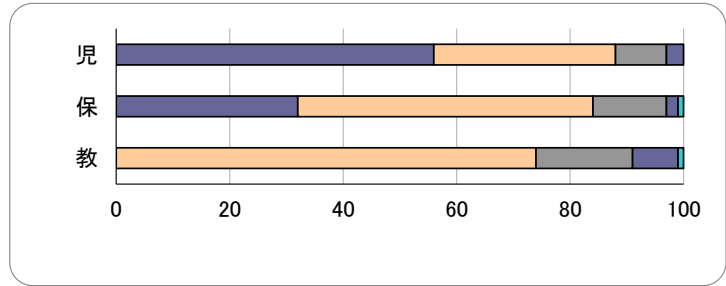
・児童、教職員とも「友達の良いところを理解し、認めている」が昨年度を上回り、特に教職員の数値が高い。学級において各担任とも重点的に指導し、その効果が見られている。

・保護者の「進んで人の役立つことをしている」の数値が低かった。児童に対する期待の証と考え、保護者との連携を図りながらさらに指導を行いたい。

【進んで学ぶ子】

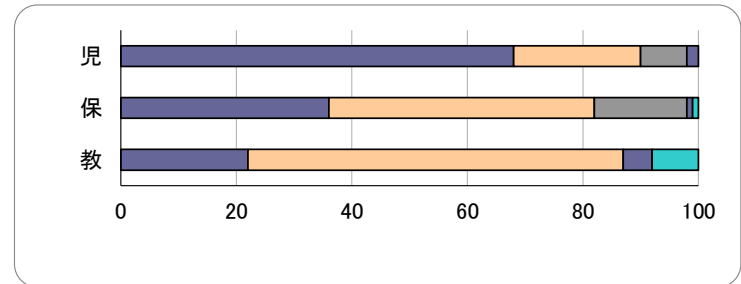
① 学習内容を理解している。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	56	32	9	3	0	1
保	32	52	13	2	1	1
教	0	74	17	8	1	-7



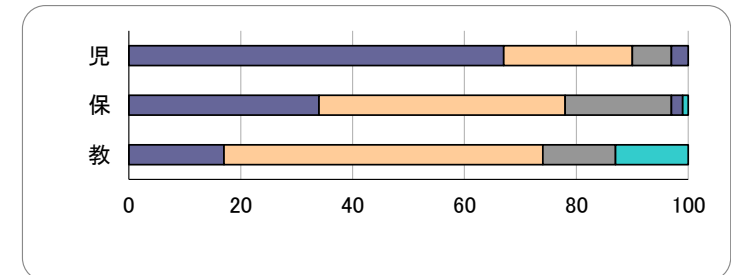
② 勉強ができるようになると頑張っている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	68	22	8	2	0	-1
保	36	46	16	1	1	1
教	22	65	0	5	8	15



③ 家庭学習の習慣が身に付いている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	67	23	7	3	0	-2
保	34	44	19	2	1	-12
教	17	57	13	0	13	-2

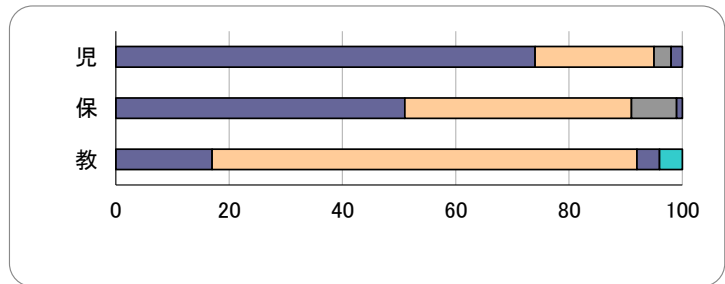


・家庭学習の習慣化については、課題が残った。「学年×10分+10分」を目標として掲げていたが、具体的な進め方を示す工夫が必要であった。学年の系統性を考慮した上で、課題の内容や方法などを児童だけでなく、家庭にも周知するようにしたい。  
 ・今後は端末の持ち帰り回数を徐々に増やし、デジタルドリルの活用にも重点的に取り組んでいく。また、音読や読書など従来のあり方など含めて、検討し、改善を図る。

【たぐましい子】

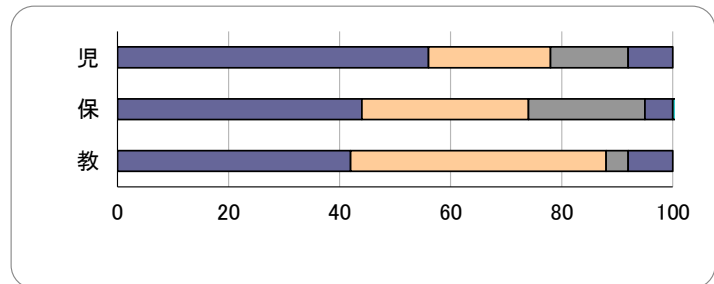
① 命を大切にし、安全に気を付けて行動している

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	74	21	3	2	0	12
保	51	40	8	1	0	-6
教	17	75	0	4	4	4



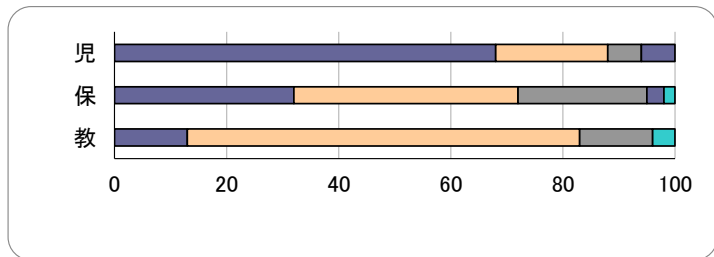
② 外遊びやスポーツに積極的に取り組んでいる。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	56	22	14	8	0	3
保	44	30	21	5	1	1
教	42	46	4	8	0	-2



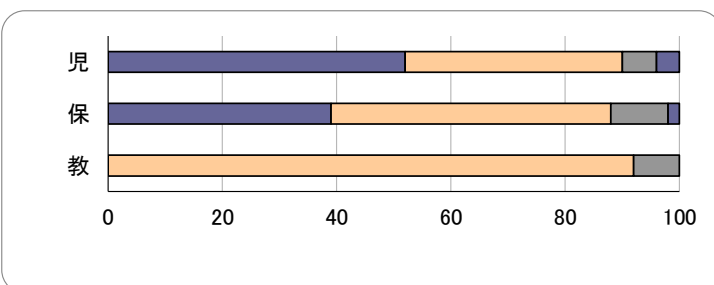
③ 目標を持って頑張っていることがある。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	68	20	6	6	0	3
保	32	40	23	3	2	2
教	13	70	13	0	4	-7



④ 学校のきまりを守っている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	52	38	6	4	0	-2
保	39	49	10	2	0	-5
教	0	92	8	0	0	6

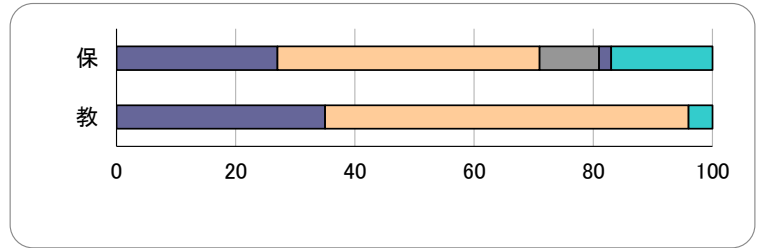


・きまりを守ることは、児童保護者とも昨年度より低い。規範意識の向上を目指したい。  
 ・休みに教師と一緒に外で遊ぶ姿が多く見られ、積極的に身体を動かす機会も増えている。その反面、昨年度よりけがの発生率が高く、スポーツ振興センターへの申請件数も大きく上回っている。基本的な身体の動かし方については、体育の授業において、「からだづくり運動」に取り組ませるなどし、今後もけがの予防に努めていく。  
 ・目標を持って頑張ろうとする児童が増えているので、今後は、目標達成に向けて粘り強く取り組むことができるよう支援していきたい。

### 3 いじめ対策について

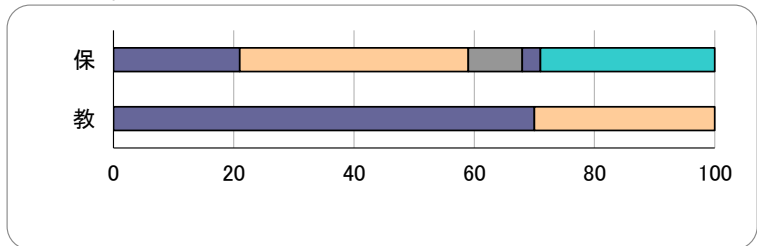
① 学校は、いじめの未然防止に向けた取組を適切に行っている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
保	27	44	10	2	17	1
教	35	61	0	0	4	5



② 学校は、いじめが起きたとき、適切に対応している。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
保	21	38	9	3	29	-6
教	70	30	0	0	0	4



・保護者に対して、学校の対応が十分に伝わっていない結果と受け止めている。今後は、学校としての具体的な取組の周知、アンケート結果の公表などをおして、理解と協力が得られるように努める。その方法として、学年だよりや学級だよりにおいて、これまで以上に児童の成長や活動の様子が伝わるような内容編成になるよう工夫する。

・特に学級担任と児童が、より良好な関係を維持できるよう、児童とともに過ごす時間を増やしたり、関わりを持ったりする取組を充実させる。その一つとして、児童一人一人との面談期間を設定し、担任との信頼関係の構築を図る。